

新フェローの紹介

石井 博昭 (いしい ひろあき) 氏

昭和23年7月10日生れ

〔現住所〕大阪府豊能郡豊能町ときわ台1-16-12

〔学歴〕昭和51年3月 京都大学大学院工学研究科数理工学専攻博士課程単位取得退学
昭和54年 京都大学工学博士

〔職歴〕

昭和51年 大阪大学工学部助手

昭和59年 同助教授

平成2年 岡山大学工学部教授

平成5年 大阪大学工学部教授(数理工学教室)

〔OR学会関係〕第15回 文献賞授賞 昭和62年, 評議員 平成4年度~現在, 論文誌編集委員 平成4年度~現在

〔著書等〕数理工学教室の応用〈理論編〉(共著, 産業図書, 1982), 応用代数(京都コンピュータ学院教科書出版会, 1984), 解析学要論〈II〉(共著, 裳華房, 1989), 論文74編, 講演・口頭発表多数

石井氏は, スケジューリング理論, 確率計画法, 在庫理論, ネットワーク理論, 配置問題等広範な分野の研究において業績をあげられ, 近年はファジィ理論とORの結合, 特に“ファジィ組合せ最適化”分野で活躍されておられます

また, 関西支部運営委員, 支部研究会主査, 中国・四国支部評議員, 研究会主査などを歴任, 本学会支部の発展にも貢献してこられました。

古林 隆 (こばやし たかし) 氏

昭和16年4月14日生れ

〔現住所〕東京都杉並区浜田山4-3-30-302

〔学歴〕昭和41年 東京大学大学院工学系研究科応用物理学専門課程修士課程終了

昭和58年 工学博士



〔職歴〕

昭和41年 東京大学工学部助手

昭和46年 埼玉大学教養学部講師

昭和48年 同助教授

昭和59年 同大学院政策科学研究科教授

昭和63年 法政大学工学部教授(経営工学科)

〔OR学会関係〕事例研究奨励賞第1回ソフトウェア部門授賞 昭和61年, 理事(研究普及)昭和56~57年度, 理事(庶務)昭和61~62年度, 理事(論文誌編集)平成2~3年度, 評議員 平成3年度~現在, その他研究普及委員, 庶務幹事, 論文誌編集委員, 表彰委員などを歴任

〔著書等〕ネットワーク理論(共著, 日科技連出版社), 統計解析(培風館), ネットワーク計画法(培風館), 他著書6冊, 論文29編, 学会発表, 総合報告多数。

古林氏は, ネットワーク計画法および数理工学教室の統計解析などの分野で顕著な業績をあげられ, 特に著書については, いずれも解説がわかりやすいことで定評があり, さらにはネットワーク計画法のパソコン用ソフトウェアの開発も手がけられ, 昭和61年には本学会事例研究奨励賞(ソフトウェア部門)を授賞されました。また, 本学会の理事を3期6年間務められるなど, 長年にわたり本学会の運営, 発展に貢献してこられました。

小林 龍一 (こばやし りゅういち) 氏

大正14年12月30日生れ

〔現住所〕東京都目黒区目黒5-9-16

〔学歴〕昭和29年9月 東京大学工学部応用数学科(旧制)卒業

〔職歴〕

昭和30年 東京大学工学部助手

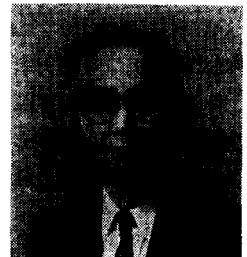
昭和34年 立教大学一般教育学部講師

昭和35年 同理学部講師

昭和38年 同助教授

昭和48年 同教授(数学科)

平成4年 桃山学院大学教授(経営学部), 立教大学名誉



教授

〔OR学会関係〕編集幹事 昭和38～43年度, 評議員 昭和42～46年度, 理事(機関誌編集) 昭和56～57年度
〔著書等〕OR概論(共立出版, 1970) など20数冊, 他論文, 学会発表多数.

小林氏は, 現在のOR学会コミュニケーション誌“オペレーションズ・リサーチ”が, 本学会に引き継がれるまへの日本科学技術連盟刊行時代より, しばしば編集に従事されてこられました. また, 隣接科学である品質管理の分野でも種々活動をつづけてこられました. 当該分野でのORに明るい研究者としてもよく知られており, 品質管理分野の個人賞“デミング賞本賞”を1987年に受賞しております.

著書“OR概論”は, 1970年に刊行されて以来現在まで初版のまま版を重ね, 現在, 23刷を記録しております. また, 本学会に関連しては, 編集理事, 評議員等の役員を歴任され, 学会発展のために大きな貢献をしてこられました.

小和田 正 (こわだ まさし) 氏

昭和11年9月28日生れ

〔現住所〕愛知県名古屋市東区平和ヶ丘1-135 光ヶ丘ハイムA303

〔学歴〕昭和37年 東北大学大学院理学研究科数学専攻修士課程修了

理学博士

〔職歴〕

昭和37年 名古屋工業大学工学部助手

昭和40年 同講師

昭和45年 津田塾大学学芸学部助教授

昭和48年 東京教育大学理学部助教授

昭和55年 名古屋工業大学工学部教授(計測工学科)

〔OR学会関係〕中部支部長 昭和61～62年度, 理事(無任所) 昭和62～63年度, 評議員 昭和56年度～現在
〔著書等〕マルコフ連鎖(白日社), 確率過程とその応用(実教出版), OR入門(共著, 実教出版), 統計学の基礎(実教出版), 例解OR(実教出版), 論文28件, 発表多数.

小和田氏は, 確率論とその応用分野での研究をつづけてこれ, 近年ではさまざまな価値観が渦巻く現実の諸

問題を, 数理的に捉えることの意味を考察することに特に関心をおもちで, ORについても, そのような観点から興味を抱いておられ, また, ORにおけるランダムで複雑な現象と統計力学やエルゴード理論との接点に理論的関心をおもちになっておられます

本学会では, 理事, 評議員などを歴任されたほか, 特に支部長時代には名古屋中心になり過ぎている中部地区の学会活動に一石を投ずるため, 金沢での学会開催に努力されるとともに, “確立とその応用”の研究会を発足させるなど, 本学会の運営・発展に大いなる貢献をされました.

鈴木 誠道 (すずき じげみち) 氏

昭和8年3月22日生れ

〔現住所〕東京都多摩市桜ヶ丘2-41-5

〔学歴〕昭和31年3月 東京工業大学理工学部物理学コース卒業, 昭和39年1月 ノースカロライナ大学数学科修士課程修了(Master of Arts)

昭和51年 東京大学工学博士

〔職歴〕

昭和31年 日本国有鉄道入社

昭和36年 同社鉄道技術研究所主任研究員

昭和51年 上智大学理工学部助教授

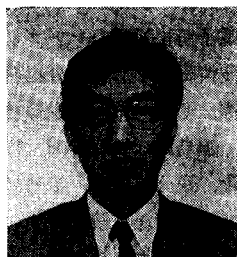
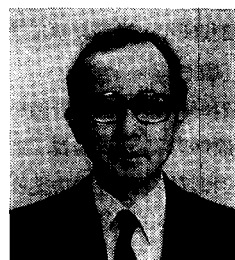
昭和52年 同教授(機械工学科)

この間, 南フロリダ大学教授, 上智大学電子計算機センター長, 大学評議会議員等を歴任

〔OR学会関係〕理事(国際) 昭和54～55年度, 監事 平成元～2年度, 評議員 昭和63年度～現在, 表彰委員 平成元年度～現在

〔著書等〕数値計算ハンドブック(共著, オーム社, 1971), コンピュータ・マネジメントサイエンス・ハンドブック(共著, オーム社, 1971), オペレーションズリサーチ入門I—線形モデル(共訳, 培風館, 1976), 数理計画法の応用〈実際編〉(共編, 産業図書, 1981), 原著論文21編, 研究報告28編, 解説・総説3編, 講演, 口頭発表多数.

鈴木氏は, 昭和35年頃から鉄道技術研究所において運転用燃料の配分, 貨物輸送計画等の鉄道における計画問題の研究にたずさわられ, また, 数理計画法のプログラ



ム開発とその実用化に努めてこられました。

大学に移られてからは、生産計画、交通・転送計画の分野で顕著な業績を挙げておられ、また、本学会については、その運営・発展のために各種委員、役員として永年にわたり、多大な貢献をしておられます。

徳山 博子 (とくやま ひろゆき) 氏

昭和15年6月23日生れ

〔現住所〕兵庫県尼崎市武庫元町3-1-8

〔学歴〕昭和41年 京都大学大学院工学研究科修士課程修了

昭和60年 京都大学工学博士

〔職歴〕

昭和41年 勸計量計画研究所入社

昭和42年 住友金属工業株式会社

昭和57年 同社中央技術研究所制御技術部OR技術室長

昭和61年 同社制御技術センター制御OR部次長兼OR技術室長

昭和63年 同社和歌山製鉄所システム部長

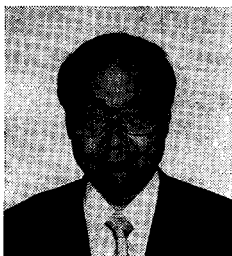
平成3年 同社システムエンジニアリング事業本部情報システム部長

平成4年 同社同事業本部上席専門部長 (情報化技術) 現在に至る

〔OR学会関係〕第11回 事例研究奨励賞授賞 平成3年度、機関誌編集委員 昭和59~62年度、評議員 昭和63年度~現在、関西支部運営委員 昭和62~平成4年度、現在同支部副支部長

〔著書等〕論文11編、学会発表・講演等多数

徳山氏は、永年にわたって鉄鋼業における生産管理を中心としてORの実践活動を推進され、大きな成果をあげられています。特に住友金属工業OR技術室創設の原動力となり、企業におけるOR活動の定着と後進の指導に尽力されてきました。また同時に、本学会やIFORSなどへの積極的な参加・発表等を通じて、産・学の連携強化にも注力され、本学会運営についても、委員や評議員、支部役員等を歴任され、企業サイドの代表・中核メンバーとして幾多の貢献をしておられます。



福島 雅夫 (ふくしま まさお) 氏

昭和25年1月1日生れ

〔現住所〕京都府城陽市寺田尼塚13-12

〔学歴〕昭和49年 京都大学大学院工学研究科修士課程修了

昭和54年 京都大学工学博士

〔職歴〕

昭和49年 三菱化成工業株式会社

同年 京都大学工学部助手

昭和58年 同講師

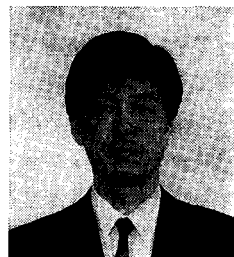
昭和60年 同助教授

平成5年 奈良先端科学技術大学院大学教授 (情報科学研究科)

〔OR学会関係〕第13回 文献賞授賞 昭和60年、論文誌編集委員 平成4年度~現在

〔著書等〕非線形最適化の理論 (産業図書)、コンフリクトの数理 (共著、現代数学社)、最適化プログラミング (共著、岩波書店)、最適化の手法 (共著、共立出版)、電子情報通信ハンドブック (分担執筆、オーム社)、岩波情報科学辞典 (分担執筆、岩波書店)、査読付論文63編、サーベイ・解説論文10編、口頭発表多数

福島氏は数理計画、特に非線形計画、微分不可能最適化、変分不等式、並列アルゴリズム等の分野の研究において顕著な業績をあげられ、昭和60年には、本学会文献賞を授賞されました。その後も活発な研究活動を継続され、数多くの著書、論文等を発表されるとともに、若手研究者の指導に力を尽くしておられます。また、論文誌編集委員や支部研究部会活動の幹事などを歴任され本学会の運営についても大きく貢献されています。



藤野 義一 (ふじの よしかず) 氏

大正15年5月9日生れ

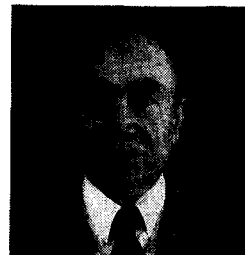
〔現住所〕福岡県粕屋郡古賀町中央4-11-40

〔学歴〕昭和23年3月 九州大学工学部電気工学科卒業

昭和37年 工学博士

〔職歴〕

昭和23年 ㈱安川電機入社



昭和43年 同社研究所長
昭和49年 同社理事・経営推進本部副本部長
昭和54年 九州工業大学制御工学科教授
平成2年 九州産業大学工学部教授（電気工学科）
〔OR学会関係〕九州支部運営委員 昭和54～61年度、
同副支部長 昭和62～63年度、同支部長 平成元～3年
度、理事（無任所）平成2～3年度、支部運営委員 平
成4年度～現在

〔著書等〕メカトロニクス概論（産業図書）、OR関係論
文、講演、口頭発表多数

藤野氏は、電気・制御工学分野におけるFAやCIM
などの研究、ORの分野における信頼性、生産計画、意
思決定などの研究にたずさわられ、また、本学会におい
ては、九州支部長、本部役員などを歴任、さらには北九
州メンテナンス技術研究会会長なども歴任され、九州地
域におけるOR活動の普及発展に大いに尽力されるとと
もに、本学会の運営、発展に多大な貢献をなされました。

真壁 肇（まかべ はじめ）氏

昭和3年3月25日生れ
〔現住所〕東京都町田市つく
し野1-12-21

〔学歴〕昭和26年 東京工業
大学応用数学コース卒業

昭和29年 東京工業大学特別
研究生前期修了（数学教室）

昭和37年 工学博士

〔職歴〕

昭和30年 東京理科大学数学科講師

昭和32年 同助教授

昭和37年 横浜国立大学工業教員養成所兼工学部機械工
業科助教授

昭和40年 東京工業大学工学部経営工学科助教授

昭和44年 同教授

昭和63年 東京工業大学名誉教授

〔OR学会関係〕理事（庶務）昭和48～49年度、監事
昭和50～51年度、評議員 昭和41～42年度、昭和45～46
年度、昭和59～62年度

〔著書等〕オペレーションズ・リサーチ（共著、日本規
格協会）、信頼性データの解析（岩波書店）、信頼性モデ
ルの統計的解析（共著、共立出版）、他著書10冊、論文
等35編、学会発表等多数



真壁氏は、オペレーションズ・リサーチの講義などを
通じてORの普及と教育に多大なご尽力をいただくとと
もに、本学会においては、理事、評議員、監事などの役
員を歴任され、また、信頼性研究部会の主査として、永
年にわたりその研究普及に努められ、学会の運営・発展
のため、大変な貢献をいただいております。

牧野 都治（まきの とじ）氏

大正14年5月18日生れ

〔現住所〕千葉県松戸市小金
原4-35-15

〔学歴〕昭和20年 横浜工専
機械科卒業

昭和28年 東京理科大学二部
数学科卒業

昭和42年 理学博士

〔職歴〕

昭和38年 高崎経済大学講師

昭和41年 同助教授

昭和44年 統計数理研究所研究室長

昭和49年 茨城大学工学部教授

昭和53年 東京理科大学理工学部教授

平成5年 同経営学部教授

〔OR学会関係〕評議員 昭和43～50年度、昭和55～56
年度、昭和59～60年度、平成4年度～現在、理事（研究
普及）昭和55～56年度、理事（機関誌編集）昭和58～59
年度、副会長 平成2～3年度、等を歴任

〔著書等〕生きたデータ解析（ホンヤク出版社）、OR入
門（森北出版）、待ち行列の応用（森北出版）、統計の知
識（森北出版）、ORする技術（ケイエ出版）、格差・
パレート図・ABC分析（日本評論社）、他著書12冊、
論文35編、学会発表、報文、講演等多数。

牧野氏は、待ち行列と統計的データ解析を中心として
ORの幅広い研究・普及につとめてこられました。特に
待ち行列の分野では、早くからタンデム型の研究に取り
組み、可逆性についての知見を得るなど、幾多の業績を
あげられました。あわせてデパートの客の動向、所得税
制不公平問題、格差の分析など、経営問題、社会問題に
ついての実証的研究もされてきました。また、本学会の
運営にも、委員、役員として永年にわたり多大な貢献を
いただいております。

